



北米ホーリネス教団
オレンジ郡
キリスト教会
「週報」

2014年の努力目標

1. 朝の15分の祈りを大切に。
2. 1日2章の聖書日課に励む
3. 日ごとの写教に励む
4. 定期の祈り会に参加
4. 聖書研究・家庭集会への参加
5. 礼拝欠席の時は牧師に連絡を。

◎集会案内◎

日曜 礼拝 : 9:30~10:45am
 コーヒー・アワー : 日曜日 10:45~11:15am
 聖書の学び : 日曜日 11:15~12pm
 みふみ会 : 水曜日 10am
 定例祈禱会 : 水曜日 7:30pm
 早天祈禱会 : 土曜日 7am
 家庭集会 : 各地区に2箇所
 牧 師 : 杉村 幸 (日語部)
 : 益田デーロ (英語部)
 電 話 : (714) 827-6244 (教会)
 : (714) 527-1456 (牧師館)
 E-Mail : sugimura1950@gmail.com
 教会ホームページ : www.occc.org
 教会所在地 : 4872 Bishop St.
 Cypress, CA 90630

石 叫 石

◎石叫■

「ジェニファー」①

五月十一日の「母の日」、礼拝後にもたれた初の英語部会員の証しである。私はジェニファー・センタニと申します。ここにいらつしやる何人かは、私が生まれた時から知っている人もいます。五年前、二十二年ぶりにこの教会に戻ってきました。私は19日にオレンジ市の UCI Medical Center で二回目の乳房の摘出と再建手術のお話をして、皆さんにお祈りして欲しいと願っています。

私は二年前に乳癌と診断されました。私の母は四十代の頃、卵巣癌と乳癌をしましたが、奇跡的に癒される経験を致しました。今は私たちと一緒に住み、私の娘 (Jordan, 六歳) と息子 (Micah, もうすぐ二歳) の面倒を見ています。母が乳癌をしていたので、私も癌になる可能性が高いという事は知っていました。マイカが産まれる六ヶ月前、乳癌と卵巣癌の遺伝子の検査を受けました。結果は陽性と出ました。その時は妊娠もしていませんでした。フルタイムの仕事もしていたので大変忙しく、癌のことはあまり考えてはいませんでした。マイカが生まれてから、ある日、マイカに授乳をした時、私は左胸に何かしこりがあるような気がしましたが、忙しさにかまけてそのままにしておりました。数ヶ月後、痛みがひどくなり、マイカの一歳の誕生日の次週に産婦人科に行きました。マモグラフィー、超音波、生体検査を一日でやりました。数日後、私は検査結果を聞きに行きました。予感してましたが、それはステージ2bの癌でした。

その腫瘍は攻撃的で大変、進行や転移が早く、治療が難しい癌だという事でした。一週間後にはリンパに拡がっている事を確認しました。ドクターが私のことを心配して泣いて下さっているのに、私は何故か泣く事はしませんでした。ショックが無かったかといったら、そうではありませんでした。でも私の中には神様の平安があったのです。これはすでに主が準備された時だと感じていました。またこれが主の御心だという事も知っていました。私はこのことをすぐ家族に電話をし、いつものように会社に行きました。車中で一人祈り、また賛美し、時には激しく泣いたりもしましたが、それは私にとって大切な時でした。

いつでしたかドライブをしている時、Chris Tomlin の "How Great is Our God" という曲が流れました。その歌詞の一部はこうです、「御名は全てに勝り、賛美を受けるべきお方、なんと偉大なわれらの主」。その時、私が感じたのは、主は偉大で、病気を癒して下さるお方だから素晴らしいのではなく、主は主だから素晴らしい。試練や苦しみの中でも主は素晴らしいという事でした (続く)。

「オレンジ郡キリスト教会の歩み」

オレンジ郡キリスト教会は1977年に発足し、東洋宣教会・北米ホーリネス教団に所属するプロテスタント教会の一つです。北米ホーリネス教団は1921年に創立され、現在は日英両語合わせますと2000名を越える会員になります。

私たちの教会は18世紀に、英国で始まったジョンウエスレーによるメソジスト教会の流れを汲みます。そして他のプロテスタント教会同様、3世紀以来告白され続けてきた使徒信条を、私達の信仰告白と致します。

